

宇都宮美術館 令和7年度

第1回・コレクション展

2025年5月17日[土]～8月31日[日]

会場／宇都宮美術館 展示室1

開館時間／午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日／月曜日(7月21日(月)、8月11日(月)は開館)、7月22日(火)、8月12日(火)

※入場にはコレクション展または企画展のチケットが必要です。

同時期に開催の企画展

まど・みちおのうちゅう

—うちゅうの あんなに とおい あそびに さわる—

4月27日(日)～6月29日(日)

new born 荒井良二

いつも しらないところへ たびするきぶんだった

7月20日(日)～9月23日(火・祝)

特集展示 1

対話型鑑賞を用いた医学教育の実践から

宇都宮美術館は令和3年度から獨協医科大学と連携して、医学生向けに、感想や解釈を共有して作品をみながら読み解く対話型鑑賞を行っています。今回の特集展示は、そこでの気づきを出発点として「人体」、「痛み」、「癒し」といったテーマで構成します。



特集展示 1 齋藤誠治《Belle of Romance》2004年



特集展示 2 丑久保健一《へこみのあるボール》1980年頃



左 レオネット・カッピエルロ

《温湿布 体を温め、咳、リウマチ、胸痛その他を鎮めます》1907年
7月6日(日)まで展示



右 デザイナー不詳

《咳、喉の痛み、感冒にレーケロール息爽やか、喉すっきり》1920年頃
7月8日(火)から展示

特集展示 2

丑久保 健一

宇都宮で活躍した彫刻家の丑久保健一(1947～2002)を特集します。丑久保は、1971年、宇都宮市大谷にある採石場の地下空間にひかれ、アトリエを設けました。今回は、当館所蔵の大規模なインスタレーション作品《立方体のつながり》を約15年ぶりに展示するほか、代表的なシリーズを概観することで、地下空間、そして、漆黒の闇との対峙を表現の原点とした丑久保作品の魅力に迫ります。

宇都宮美術館
Utsunomiya Museum of Art

〒320-0004 栃木県宇都宮市長岡町1077番地
TEL.028-643-0100(代)/FAX.028-643-0895
ホームページアドレス ≡ <http://u-moa.jp>



@utsunomiya_moa



特集展示 2 丑久保健一《立方体のつながり》1989年